

講義名	対)中国語資格試験準備A【GSP生用】			授業形態	
担当教員	関 梅	開講期・曜日・時限	前期 木曜日 4時限		
		単位数	2	履修開始年次	2年生

**主題と概要**

この科目は、GSPクラスの学生を対象としています。  
この授業では、中国語4級の検定試験の合格を目標としています。  
中国語検定試験のランクは準4級から始まりますが、この授業ではワンランク上の4級レベルの文法を学習しながら、検定試験を受けるためのリスニングと筆記のトレーニングを進めていきます。

**到達目標**

中国語検定試験4級に合格する目標を目指します。

4技能に関する到達目標

聞く：平易な日常会話の内容を聞いて分かり、ある程度の長文の概要を聞いて理解できる。  
話す：自己紹介ができ、短い文の質問と答えができる  
読む：300字以内の平易な内容の中国語を理解することができる。  
書く：基本文型を応用して、簡単な作文ができる。

**提出課題**

毎回の授業では、トレーニングの状況を確認するため、トレーニングのプリントの提出をしてもらい、次回にフィードバックを行います。また、毎週宿題のプリントも配布します。

**課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法**

前回の提出物の結果を講評し、習得できなかった文法項目などの復習をします。

**評価の基準**

原則として1/3以上提出物を締切日までに提出しなかった場合は失格とします。  
期限過ぎの提出は評価の減点対象となりますので、注意してください。

**履修にあたっての注意・助言他**

この授業は中国語検定4級の合格を目指す科目であるため、授業時間外でのリスニングのトレーニングの強化はしなければなりません。

**教科書**

.教科書を使用しない。

**参考図書**

.なし。

**その他**

検定問題の過去問題及び自作プリント教材

**授業計画**

- 1.40分双方向授業&実力測定&検定試験の説明
- 2.40分双方向授業&ワークシート配布：文法項目・筆記、リスニングトレーニング
- 3.40分双方向授業&ワークシート配布：模擬試験による実力測定・解説
- 4.40分双方向授業&ワークシート配布：文法項目・筆記、リスニングトレーニング
- 5.40分双方向授業&ワークシート配布：模擬試験による実力測定・解説
- 6.40分双方向授業&ワークシート配布：文法項目・筆記、リスニングトレーニング
- 7.40分双方向授業&ワークシート配布：模擬試験による実力測定・解説
- 8.40分双方向授業&ワークシート配布：本講義の中間まとめ
- 9.40分双方向授業&ワークシート配布：文法項目・筆記、リスニングトレーニング
- 10.40分双方向授業&ワークシート配布：模擬試験による実力測定・解説
- 11.40分双方向授業&ワークシート配布：文法項目・筆記、リスニングトレーニング
- 12.40分双方向授業&ワークシート配布：模擬試験による実力測定・解説
- 13.40分双方向授業&ワークシート配布：文法項目・筆記、リスニングトレーニング
- 14.40分双方向授業&ワークシート配布：模擬試験による実力測定・解説
- 15.40分双方向授業&ワークシート配布：総まとめ

**授業形態（アクティブ・ラーニング）**

ア：PBL（課題解決型学習）	<input type="radio"/>	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	<input type="radio"/>	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	<input type="radio"/>	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		

**準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間**

中国語検定4級を目指すには、授業外での努力は欠かせないため、毎回の授業の後にプリントの宿題のほか、Moodleにアップした音声ファイルを聞くことも宿題。また、検定4級試験に必要な単語及びフレーズの小テストを順次行っていくので、そのための勉強時間も確保しなければなりません。  
毎日の学習時間は1時間以上が必要です。

**卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連**

外国語を用いて「人と円滑なコミュニケーションをとることができる」資質・能力を育み、言語部生に求められる「各業界の動向や問題点を理解するための基礎知識」、経済学部生に求められる「人間、社会に関するこれまでの学問的成業の基礎」、人間社会学部生に求められる「日常生活と文化といった現実社会の様々なテーマ」に皆熟し「コミュニケーション能力」の育成を目指します。

**双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述**

毎回の講義では、半分の時間は双方向授業を実施する予定をしています。

**実務経験の有無及び活用**

**備考**

中国語検定4級試験を受けるのは6月末なので、その後の授業はHSK試験3級の内容をシフトする予定です。